

上島町

元気ハツラツ！

上島町老連ゲートボール大会

9月10日、「岩城なごみの里」において、初開催となる上島町老人クラブ対抗の平成17年度ゲートボール大会が盛況裡に開催されました。

今年は、弓削地区4チーム、生名地区2チーム、岩城地区2チームの合計8チーム（応援・スタッフ含めて52人）が参加し、2ブロックに別れて、日頃の練習の成果を競い合いました。

試合後、会場を友愛会館に移動し、成績発表・懇親会を通じて親睦交流を深めました。

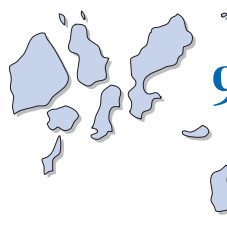
成績は次のとおりです。

■第1ブロック

優勝 弓削A（2勝1敗）
準優勝 生名A（2勝1敗）

■第2ブロック

優勝 弓削B（2勝1敗）
準優勝 弓削C（2勝1敗）



9月10日

～10月12日

建設業からの暴力団排除

上島町と伯方警察署が連携

9月26日、上島町役場において、町が発注する建設工事等から暴力団員による不当な行為を防止するため、上島町と伯方警察署は「建設業からの暴力団排除に関する合意書」を締結し、合意書へ調印しました。

合意書の内容は、「町長は競争入札の参加資格者等が暴力団に該当する疑いがあるときは署長に照会する」などの7項目を謳っています。



生名地区

大歓声に沸いた！

いきな秋季大運動会

9月18日、6回目となる小中学校と住民の合同運動会は、晴天に恵まれ盛り上がった大会となりました。

1種目目の体操で体をほぐし、いざ本番。各種目、真剣に、時には楽しく競技しました。分団対抗の5種リレーでは、輪まわしで手こずる人や二人三脚でつまづく人で観客から大きな歓声が湧き上がっていました。運動会も無事終了し、とても楽しい一日となりました。



NHK松山放送局放送番組

伊予路てくてく生放送！

10月12日、NHK松山放送局の放送番組「伊予路てくてく」が上島町から生放送されました。

上島町からは、岩城島のレモン畑と弓削島のシーサイドモールゆげ及びせとうち交流館からの中継が行われ、町内から様々な方や団体が出演し、上島町のアピールを存分に行いました。



みんなの笑顔が光りました！

弓削秋季大運動会

9月18日、弓削小グラウンドにおいて、保育所・小中学校・地区住民の合同による初めての弓削秋季大運動会が開催されました。

今年は、弓削中学校の松本和佳奈さんの「最後までみんなでつなげる 力の輪」を大会スローガンに掲げ、地区住民一体となった運動会となりました。保育所園児によるかけっこやマツケンサンバⅡの踊り、小中学生による若さ溢れる様々な演技、地区住民による楽しくもパワーあふれる競技。みんなの笑顔がキラキラと輝いた楽しい一日を過ごしました。



弓削商船高等専門学校

海上輸送システム工学専攻科入学式

10月3日、弓削商船高等専門学校において、平成17年度「海上輸送システム工学専攻科」の入学式が行われ、第1期生として11名が入学しました。

入学式では、入学許可に続いて、入学生を代表して早柏さんが宣誓を行い、その後、西垣校長が式辞を述べました。

この専攻科は、今春に設立された「生産システム工学専攻科」に続き、より高度で最新の専門知識と技術力を修得し、大学卒業と同じ学士を取得することができます。



弓削商船高等専門学校 板東卓哉さん・難波慎治さん・堀田裕司さんが国民体育大会のセーリング（ヨット）競技に出場！

今夏、岡山県で開催された国民体育大会のセーリング競技に、弓削商船高等専門学校の板東卓哉さん・難波慎治さん（FJ級）、堀田裕司さん（シーホッパー級スモールリグ）が出場しました。

成績は、板東さん・難波さんが39位、堀田さんが40位と健闘およびませんでしたが、全国レベルで戦った経験を今後の糧として、ますます頑張ってください。



左から 難波さん・板東さん・堀田さん

弓削地区

まだまだ人生これからだ！

弓削地区敬老会

9月16日、弓削体育館において、弓削地区敬老会が開催され、弓削地区の高齢者146名が参加されました。

式典では、上村町長の挨拶に続き、数え百歳1名（地区内3名）と米寿者12名（地区内19名）に表彰状と記念品が贈呈されました。

弓削地区の名司会者によって始まった「町民の慶祝の部」では、弓削小中学生によるメッセージの手渡しに続き、保育所園児・婦人会による踊り、文化協会による様々な演技が催されました。「老人参加の部」では、各地区老人クラブの代表による歌や踊りが披露され、参加者も芸能達者な出演者の催しに大変楽しんでいました。

最後に、益崎治老連会長が「我々の知恵や技を町民のために伝えていきましょう！」と力強く挨拶を述べ、盛況のうちに閉会しました。



弓削商船高等専門学校で

救急救命講習会

9月26日及び9月29日の両日、弓削商船高等専門学校において、上島町消防職員の指導により教職員を対象とした救急救命講習会が実施されました。

この講習会は、弓削商船高等専門学校が学生及び教職員等の不測の事態が生じた際に、迅速かつ適切な救急救命法を習得するために開催したもので、訓練用人形を用いた基本的心肺蘇生法のほかに、この度、学校内の保健室と学寮に設置したAED（自動体外式除細動器）のシミュレーションも取り入れ、教職員75名が参加しました。講習会での質疑応答においても、クラブ活動等の身近に起こりうる事故の救急処置など活発に質問があり、救命率向上に真剣に取り組んでいました。



岩城地区

ぶつかり合う熱戦熱戦！

いわぎ秋季大運動会

9月18日、岩城小グラウンドにおいて、いわぎ秋季大運動会が開催されました。

秋晴れの下、演技する子どもたちの姿はハツラツとしており、保護者及び地域の方々も温かい目で見守っていました。ウルトラクイズでは、一等賞をかけて多くの人々が〇×クイズに挑みました。また、地区対抗の綱引き、職域リレーなど、本気でぶつかり合う演技に誰もが手に汗を握りました。

今年から、地区住民と小中学校・高等学校・保育所合同で行われることとなった初めての運動会でしたが、世代を超えて、笑顔あふれる一日となりました。



みんな大好き！

シャボン玉&どろんこ遊び

9月13日、岩城保健センターにおいて、さくらんぼ教室が開催され、12組の親子が参加しました。

今回は、シャボン玉、どろんこ遊びの外遊びと、室内での絵本の読み聞かせを行いました。

外遊びでは、シャボン玉を飛ばしたり、どろんこになりながらワイワイと元気よく遊びました。また、絵本の読み聞かせも、みんな真剣に聞き入って楽しい時間を過ごすことができました。



お年寄りの元気は地域の願い

岩城地区敬老会

9月23日、岩城開発センターにおいて岩城地区敬老会が盛大に催されました。今年の式典には203人が参加し、お互いの長寿を祝いました。式典では、上村町長の開会挨拶の後、数え百歳以上と米寿の方の表彰や記念品の贈呈があり、続いて田窪議長の祝辞が行われました。

その後、老人クラブ連合会副会長の村上哲朗さんの乾杯の音頭で祝宴に。舞台のフラダンスや島本陣岩城太鼓・神龍子ども太鼓の熱演で大いに盛り上がりました。お年寄りが健康で明るく過ごすことは、家族の方だけでなく、地域全ての願いです。毎年元気にこの式典に出席できるよう、お体を大切にしてください。



爽やかな汗・力強い熱戦

第44回いわぎ球技大会

10月2日、岩城総合運動場等の会場で、第44回いわぎ球技大会が開催され、老若男女を問わず、多くの島民が競技に参加し、爽やかな汗を流しました。大会成績は次のとおりです。

- ソフトボール…西
- 男子レクバレー…西部
- 女子レクバレー…西
- ソフトテニス…高原・大谷
- ゲートボール(ベスト)…海原
- ゲートボール(ファミリー)…東



日本損害保険協会から

岩城地区へ小型動力ポンプ寄贈！

この度、全国離島振興協議会を通じて、日本損害保険協会より岩城地区に消防資材（小型動力ポンプ）が寄贈されました。

今後の防災力向上のために活用させていただきます。



瀬戸内海を中心から愛を叫ぶ！

9月17日、児童・生徒から高齢者までが大集合して魚島地区秋季大運動会が催されました。二学期から新しい友だちを迎えた小中学生は、張り合う気持ちを一つにして演技に集中しました。一般参加もすこぶる盛況で、種目ごとに奇抜な個人技や和気あいの集団美を発揮。リレー種目は、職域やサークルの仲間パワーが炸裂して応援合戦も加熱。突然、謎のウオシマン（創作キャラクター）が乱入して、愛と笑いのショーを繰り広げるプログラムも盛り込まれました。島外の参加者を含めて連帯感が一層高まり、躍動感みなぎる一日となりました。



みんな揃って元気に暮らそう

魚島地区で介護教室

9月20日、魚島地区では、県在宅介護研修センターから講師を迎え、老人クラブと一般の方を対象とした介護講座を開きました。老人クラブでは、今日よりは明日と目標を持って、変化と刺激のある暮らしを続けることの大切さを学びつつ、健康体操やゲームに興じました。一方、一般では人が集まる場所に出かけて会話を楽しんだり、余暇活動を広げたりすることが、老化の予防につながるなどの講話に耳を傾けました。



魚島地区

愛を持ち寄って手作りの敬老会

9月15日、75歳以上の高齢者37名を招待して、魚島地区敬老会が催されました。式典では来賓の祝詞に続いて、3名の米寿者に表彰伝達がありました。

祝宴では、保育児童、小・中学生、文化協会の皆さんが歌や踊りのステージを繰り広げました。満面の笑顔で拍手を送る高齢者の皆さんに、『いつまでもお元気で』と子どもたちがエールを送りながら、手作りのプレゼントを手渡しました。人肌の温もりが行き交う心安かなひとときを、みんなで共有しました。



高齢者のみなさん、波乱万丈の三世を生き抜いてきた掛け替えのない人生哲学を、自信を持って後世に語り継いでください。

災害転じて高まる防災の知恵

9月27日、消防署職員の指導の下、魚島地区で防災講座が開かれました。まず講義では、地震や台風に備える防災知識を詳しく学習しました。続いて地域ぐるみで取り組む防災訓練の映像が映され、置かれた地域の現況を顧みました。その後、屋外に出て消火器の取り扱い方の練習に真剣に取り組みました。

いざという時に落ち着いて行動するには、やはり日頃の訓練が大事です。

